

ENCHANT 1300  
ENCHANT 800  
ENCHANT SUBWOOFER

/



取扱説明書

# ／ 重要な安全上の注意

## 使用前に線間電圧を確認する

Enchant(エンチャント)サウンドバーは100～240ボルト、50/60HzのAC電流で使用するよう設計されています。本製品向け以外の線間電圧への接続は安全上の問題および火災の危険があり、ユニットに損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の線間電圧についてご質問がございましたら、壁のコンセントにユニットをつなぐ前に販売店にご連絡ください。

## 延長コードは使用しない

安全上の問題を避けるため、ユニットに付属した電源コード以外には使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めしません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードは、公認のサービスセンターがただちに工場の仕様に適合したコードに取り替える必要があります。

## AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを引っ張ってください。絶対にコードを引っ張らないでください。かなりの長期間スピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

## キャビネットを開かない

本製品内にはユーザーの役に立つ部品はございません。キャビネットを開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤ってユニット内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、公認のサービスセンターにご相談ください。

# / 目次

重要な安全上の注意 .....	2
はじめに .....	4
同梱品.....	5
製品の概要 .....	7
設置.....	15
TVとの接続.....	19
他のデバイスに接続.....	21
電源への接続 .....	23
WI-FIへの接続.....	27
サウンドバーの使用.....	28
設定 .....	32
ソフトウェアをアップデート .....	35
仕様.....	36
トラブルシューティング .....	40
オープンソースのライセンスに関する注意 .....	42
使用許諾.....	43

# / はじめに

この説明書には、Enchant 1300(エンチャント1300)、Enchant 800(エンチャント800)、Enchant Subwoofer(エンチャント)の情報が記載されています。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。製品の説明と、設定してスタートするための手順が段階を追って記載されています。製品をご使用になる前に、安全上の注意を全てお読みになって理解しておいてください。

**本製品では重要なソフトウェア・アップデートがご利用いただけます。本製品をWi-Fiに接続するには注意に従い、確実に製品の最新のソフトウェア・アップデートを行ってください。**

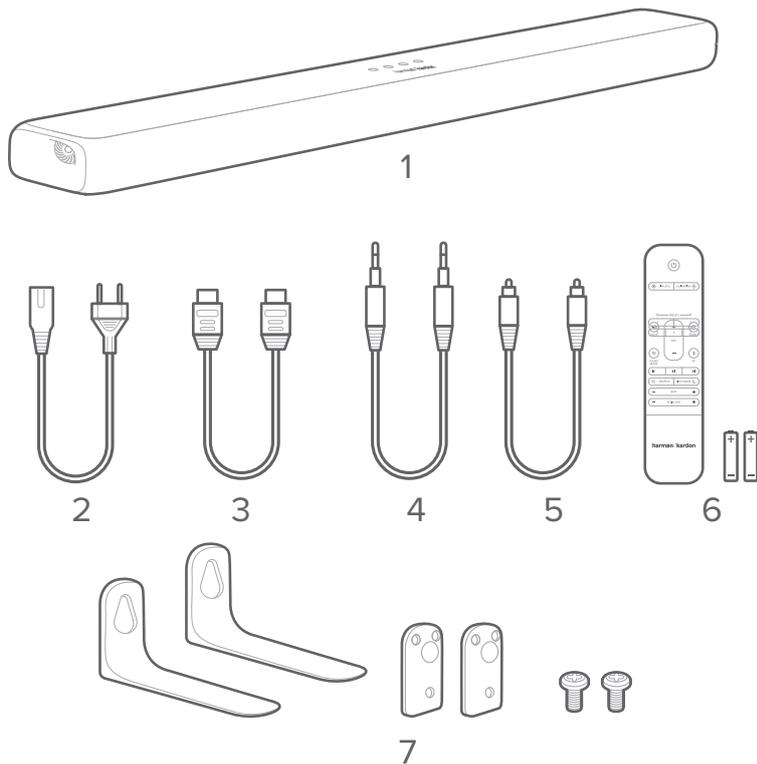
設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。

この製品、その設置または操作について何かご質問がありましたら、Harman Kardon(ハーマンカードン)製品小売店またはカスタマー・サービスにご連絡いただくか、または弊社のウェブサイト、[www.harmankardon.com](http://www.harmankardon.com)にアクセスしてください。

# ／ 同梱品

注意して箱を開封し、以下の部品が同梱されているかどうかをチェックしてください。いずれかの部品が破損している場合は、Harman Kardon(ハーマンカードン)製品小売店またはカスタマー・サービスにご連絡ください。

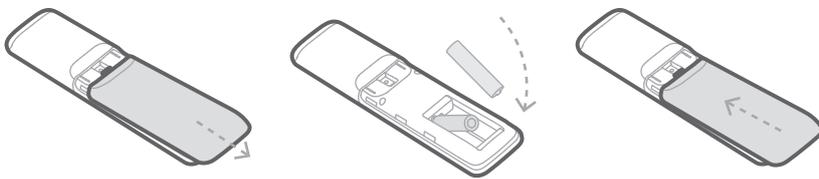
## ENCHANT 1300 / ENCHANT 800



1. メインユニット
2. 電源コード\*
3. HDMIケーブル
4. AUX端子ケーブル
5. 光端子ケーブル
6. リモコン(単4乾電池2本付き)
7. 壁はめ込み用金具

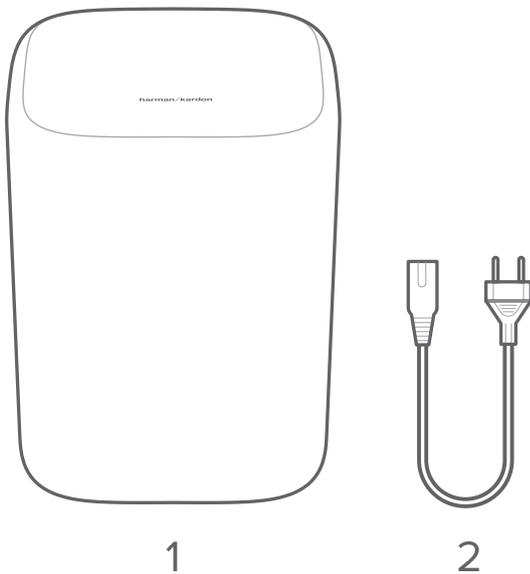
\* 電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

## 使用前にリモコンに電池を入れます(単4乾電池X2)



完全に外れるまで、電池カバーを矢印の方向にスライドさせてください。正しい極性の方向で、単4乾電池2本(1.5V)を入れます。電池カバーを元の位置までスライドさせてください。

## ENCHANT SUBWOOFER(オプション)

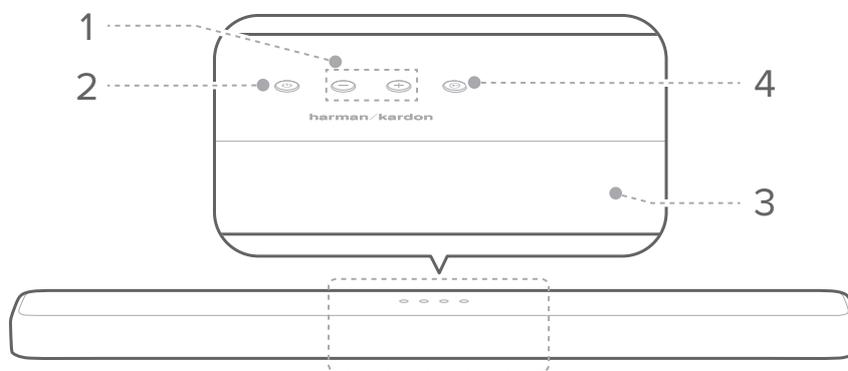


1. メインユニット
2. 電源コード\*

\* 電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

# 製品の概要

## サウンドバーのフロントパネル&トップパネル



### 1. +/- (ボリューム)

- ボリュームレベルを調整します。
- サウンドバーをミュート状態にするには、+/-ボタンを同時に押します。

### 2. ㊤ (電源)

- 電源を入れるか、またはスタンバイ・モードにします。
- サウンドバーのWi-Fi設定をリセットするには、5秒間押し続けます。

### 3. ディスプレイ・パネル

- 現在のモードとステータスを表示します。

#### 4. ④(ソース)

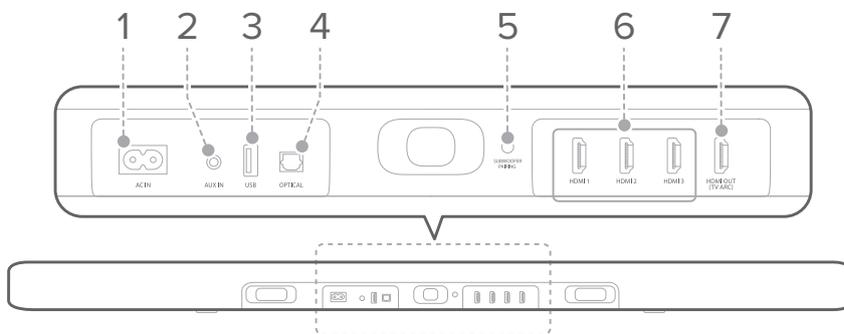
- ・ ソース入力モードを選択します：

ソース入力モード	ディスプレイ
HDMI出力(TV ARC)	TV ARC
HDMI1入力	HDMI 1
HDMI2入力*	HDMI 2
HDMI3入力*	HDMI 3
光端子入力	OPT
Aux端子	AUX
Bluetooth入力	BT
USB入力	USB

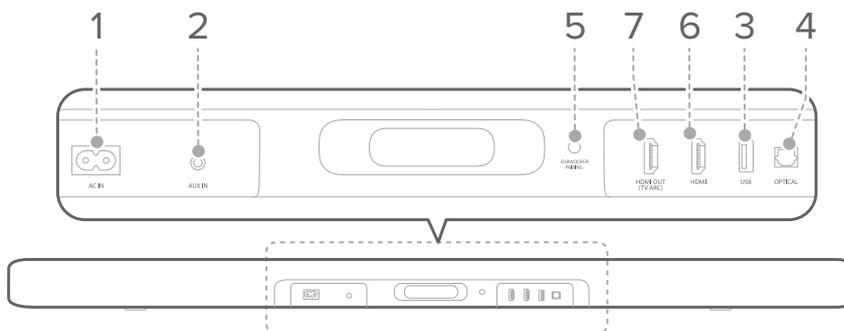
\* HDMI2およびHDMI3は、Enchant 1300(エンチャント1300)でのみ使用できます。

## サブウーファースの背面パネル

### ENCHANT 1300



### ENCHANT 800



#### 1. AC IN

- 電源コードに接続し、次に電源コードを壁のコンセントに接続します。

#### 2. AUX IN

- 外部オーディオ・デバイスのアナログ出力に接続します。

#### 3. USB

- USBストレージ・デバイスに接続して音楽を再生します。

#### 4. OPTICAL

- TVまたはデジタル・デバイスに光端子オーディオ出力を接続します。

#### 5. SUBWOOFER PAIRING

- 押すと、サブウーファー・ペアリング・モードに入ります。
- 押し続けると、サブウーファー・ペアリング・モードへの接続を解除し、再び接続します。

#### 6. HDMI1/HDMI2\*/HDMI3\*

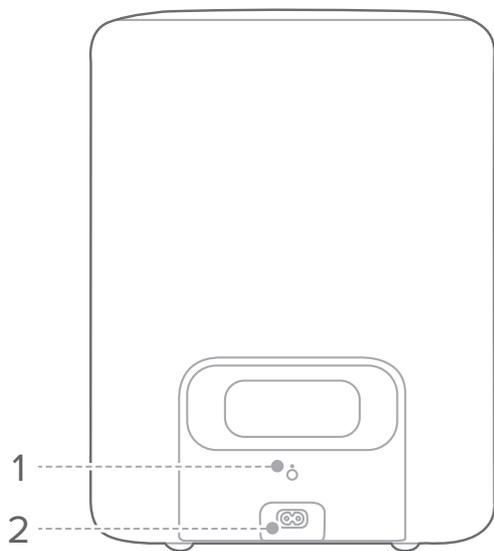
- HDMIケーブルを使用してデジタルビデオ、およびオーディオ信号を同時に入力します。
- デジタル・デバイスのHDMI出力に接続します。

#### 7. HDMI OUT (TV ARC)

- TVのHDMI (ARC)入力に接続します。

\* HDMI2およびHDMI3は、Enchant 1300(エンチャント1300)でのみ使用できます。

## サブウーファーの背面パネル



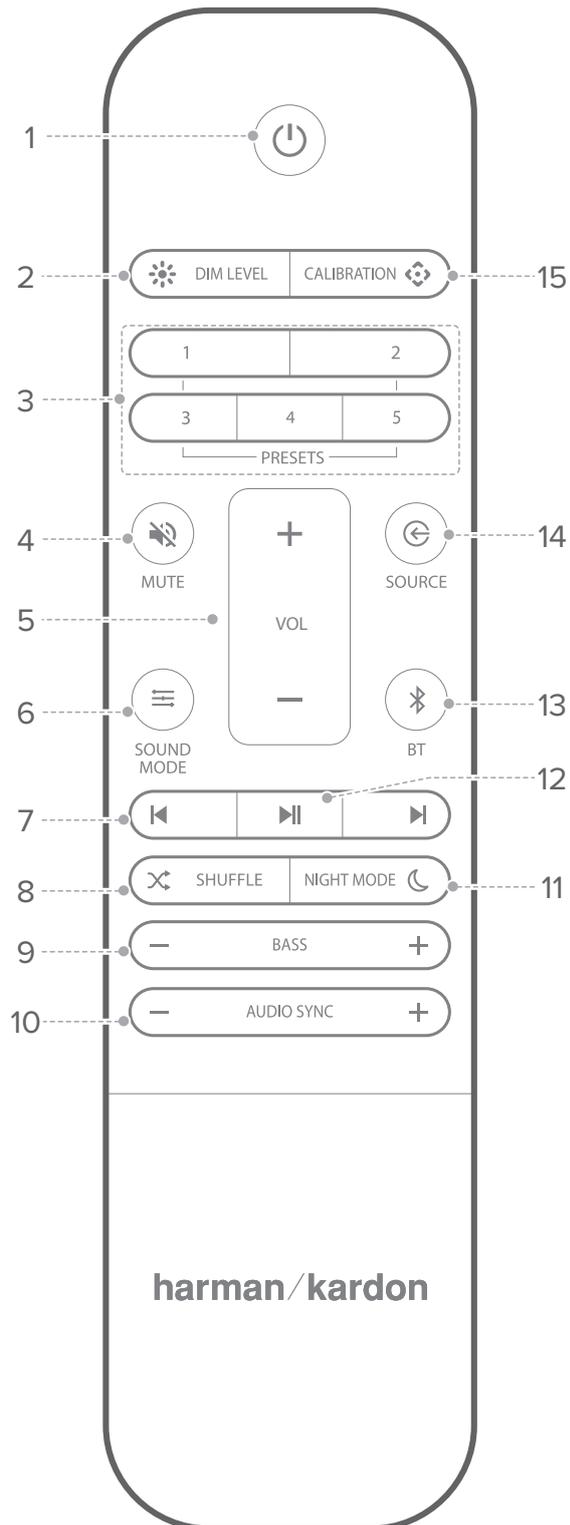
### 1. PAIRING

- Enchant(エンチャント)サウンドバーとサブウーファーをペアにするために押します。

### 2. AC入力

- 電源コードに接続し、次に電源コードを壁のコンセントに接続します。

## リモコン



### 1. ㊤ (電源)

- 電源をオンにするか、スタンバイ・モードに切り替えます。

### 2. ✨ DIM LEVEL

- ディスプレイ・パネルの輝度を設定します。

### 3. PRESETS

- プリセットのオーディオ設定と SOUND MODEに戻します。プリセットを保存するには：
  - SOURCE ボタンを押して、ソースを選択します。
  - SOUND MODE ボタンを押して、そのソース用のお好みの設定を選択します。
  - お好みに合わせて VOLUME、BASS、NIGHT MODE を調整します。
  - いずれかの PRESET ボタンを3秒間押し続けると、全てのサウンドバー設定をプリセットとして保存します。いずれかの PRESET ボタンを押すと、全てのオーディオ設定に戻ります。

### 4. 🚫 MUTE

- サウンドバー・オーディオをミュート、またはミュート解除します。

### 5. VOL+/-

- ボリュームレベルを増減します。

## 6. SOUND MODE

- 音楽またはビデオに合う、プリセットされたサウンドモードを選択します：**STANDARD / MUSIC / MOVIE / VOICE / PERSONAL**。
- **STANDARD**モードを選択し、MultiBeam(マルチビーム)サラウンド・サウンドのオリジナル・サウンドをお楽しみください。
- **MUSIC**モードを選択し、軽いMultiBeam(マルチビーム)サラウンド・サウンド効果のあるミュージック・サウンドをお楽しみください。
- **MOVIE**モードを選択し、MultiBeam(マルチビーム)サラウンド・サウンドのムービーサウンドをお楽しみください。
- **VOICE**モードを選択し、軽いMultiBeam(マルチビーム)サラウンド・サウンド効果で会話を盛り上げてください。
- **PERSONAL**モードを選択し、MultiBeam(マルチビーム)サラウンド・サウンドのオリジナル・サウンドをお楽しみください。バス設定はお客様の好みに合わせて変更でき、プリセットで保存が可能です。
- 5秒間押し続けると、デフォルトのオーディオ設定にリセットされます。

## 7. /

- Chromecast(クロームキャスト)、Bluetooth、またはUSB再生で、前のトラック、または次のトラックにスキップします。

## 8. SHUFFLE

- 再生をリピートまたはシャッフルします(USB再生のみ)。

## 9. **BASS-/+**

- サウンドバー(またはいったんペアリングに成功したサブウーファー)のバスレベルを増減します。

## 10. **AUDIO SYNC-/+**

- ビデオやオーディオの同期が正しくない場合は、オーディオの同期の遅延を増減します。

## 11. **NIGHT MODE**

- Dolby Digital(ドルビー・デジタル)およびDTSトラック用のナイトモード(ダイナミックレンジ・コントロール)をオンまたはオフにします。ナイトモードをオンにすると、音量が小さくなります(サウンドが歪むことがあります)。

## 12. ▶▶

- Chromecast(クロームキャスト)、Bluetooth、またはUSBを再生か一時停止します。

## 13. ✳ BT

- 押すと、Bluetoothペアリングモードに入ります。
- 5秒間押し続けると、新しいデバイスに接続します。

## 14. Ⓞ SOURCE

- サウンドバー用の入力ソースを選択します：HDMI ARC/HDMI1/HDMI2\*/HDMI3\*/Optical/AUX/USB/BT。

## 15. CALIBRATION ✳

- 3秒間押し続けると、自動MultiBeam(マルチビーム)調整を開始します。(調整のセクションをご覧ください)

\* HDMI2およびHDMI3は、Enchant 1300(エンチャント1300)のみ使用できます。

# ／ 設置

## テーブルのTVの下にサウンドバーを設置

### 注：

- ・ サイドファイアリング・スピーカーを正しく操作できて、部屋にサウンドが反射するように、サウンドバーの両側から障害物をどけてください。サイドホーンをふさぐと、音響パフォーマンスに影響を与えます。
- ・ ワイヤレスでの干渉を避けるため、他のワイヤレス・デバイスをサウンドバーから1〜3フィート(0.3〜0.9 m)離してください。
- ・ 近くにACコンセントがあるかどうかを確認してください。

TVの下の安定した水平面にゴム足付きのサウンドバーを設置します。



### 警告：

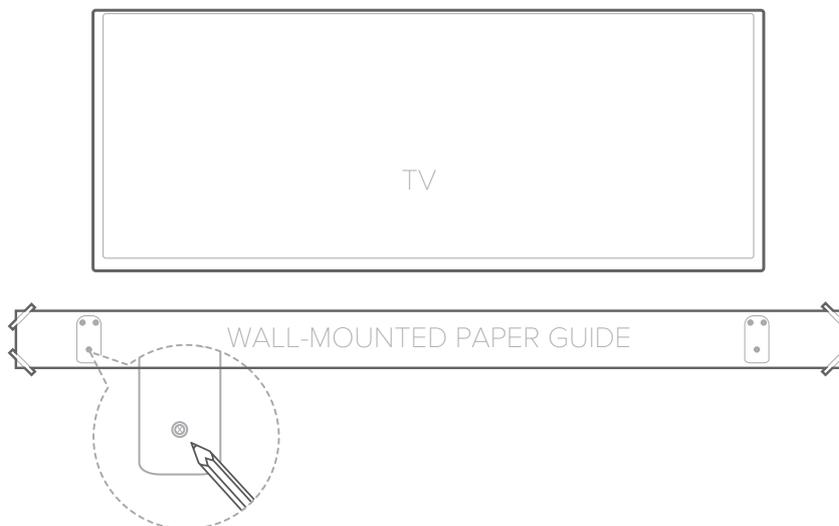
- ・ 使用の際は前面、背面、または天面を下にしてサウンドバーを設置しないでください。
- ・ サウンドバーの天面にはどんな物体も置かないでください。

## サウンドバーの壁への取り付け

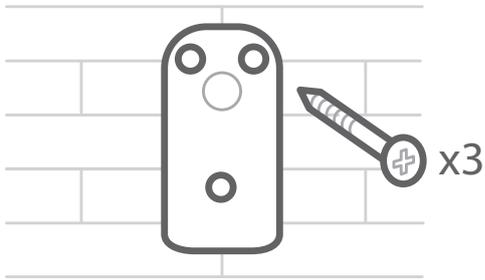
### 警告:

- 壁に取り付ける前に、壁がこのユニットの重量を支えられるかどうかをご確認ください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 壁に取り付ける場合は、高温または高湿度の場所は避けてください。
- 壁に取り付ける前に、ユニットから外部デバイスまでケーブルを接続します。
- 取り付け前に、ユニットの電源が切れていて、プラグが外してあることをご確認ください。そうでない場合は、感電の原因となることがあります。
- 家の壁のタイプ(石膏ボード、鉄のボード、木など)に適した固定ねじまたは留め具を購入して使用してください。可能な場合は、ウォールスタッドに支持ねじを固定してください(直径:M5、長さ:1.5インチ以上を推奨)

- 1) テープを使って壁掛け用ペーパーガイドを壁に貼り付け、サウンドバーの中央部に当たる位置にペン先を押しつけて、壁掛け用金具の位置をマークしてペーパーを外してください。



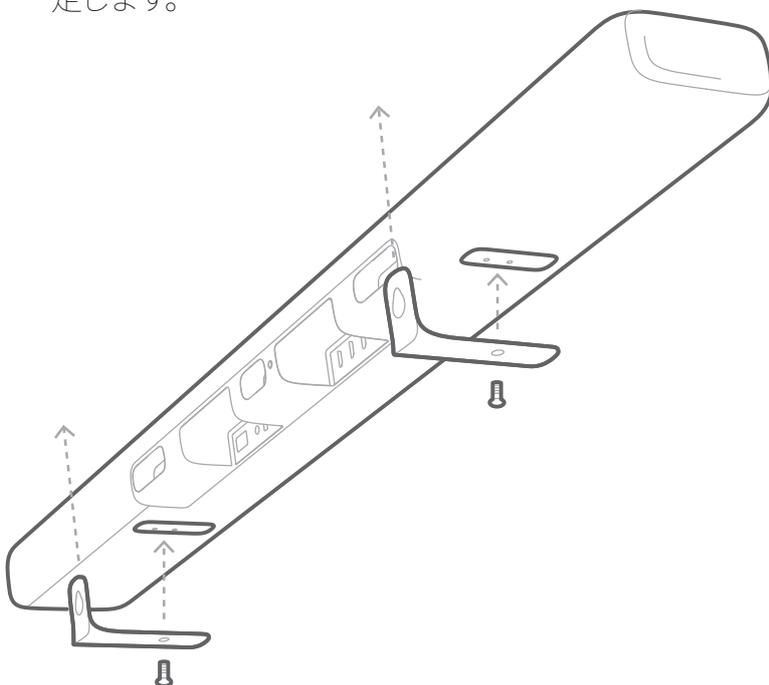
- 2) 適切なサイズのドリルビットを使用して、壁のそれぞれのマーキングに穴を開けます。適切な留め具を使用して、壁の支持ねじの穴に壁はめ込み用金具をねじ込んでください。



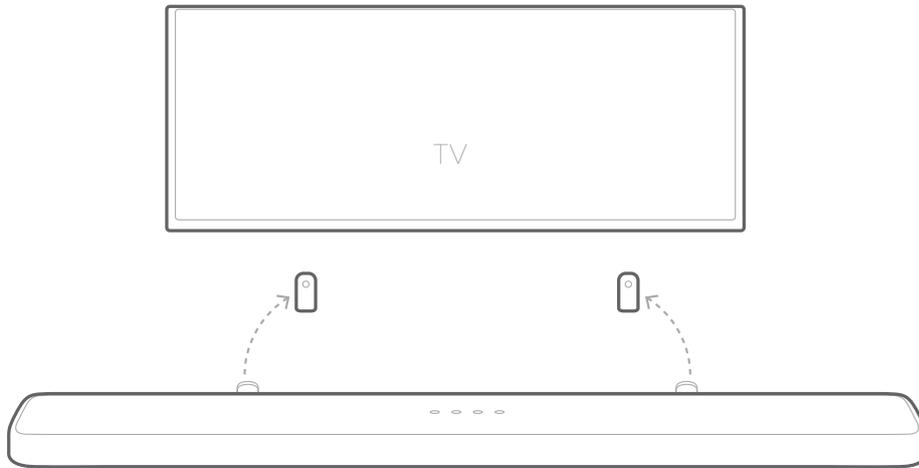
**警告:**

- マーキングがスタッドの位置に合っていない場合、支持ねじをはめ込む前に、穴に適切な留め具またはモリーをはめ込んでいることをご確認ください。留め具またはモリーを使用している場合、ドリルで開けた穴が、使用する留め具またはモリーをはめ込むために十分大きいことをご確認ください。

- 3) 付属の小型ねじを使って、サウンドバー底部にL字型金具を固定します。



4) 壁に取り付けられた金具にサウンドバーを掛けてください。



**警告:**

- 機器間の全ての接続が完了するまで、壁のコンセントにサウンドバーまたはTVの電源コードを接続しないでください。
- ユニットを動かす、または取り付ける前に、まず電源が切れていてプラグが外してあることをご確認ください。

# / TVとの接続

## 注：

- サウンドバーだけでサウンドを楽しみたい場合は、TVのオーディオ設定が外部スピーカーに対応するように設定され、TV内蔵スピーカーが使用不可になっていることをご確認ください。
- 何らかの接続、またはその変更をする前に、全デバイスからコンセントへの接続を外してあることをご確認ください。

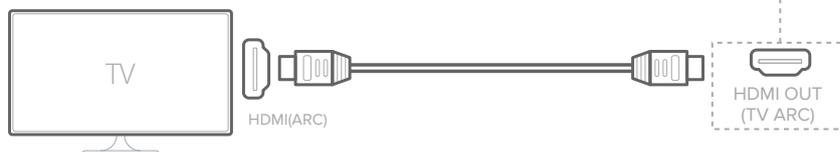
## HDMIケーブルをTVに接続する(お勧め)

- 1) サウンドバー背面のHDMI OUT (TV ARC)コネクタからTVのHDMI IN (ARC)コネクタまで、付属のHDMIケーブルを接続します。

### ENCHANT 1300



### ENCHANT 800



- 2) サウンドバーのトップパネル上の $\odot$ ボタンまたはリモコンの $\odot$  SOURCEボタンを押してTV ARCモードを選択します。

注:

- HDMI接続は1本のコネクタでデジタルオーディオおよびビデオに対応しています。サウンドバーに接続するには最善のオプションです。
- TVがHDMI ARCコネクタを特長としている場合は、1本のHDMIケーブルを使用してサウンドバーからTV音声を聴くことができます。
- TVディスプレイのサウンドバー入力に他のビデオデバイスを接続しようとする場合は、HDMI接続をする必要があります。
- TVで、HDMI-CEC操作をオンにします。HDMI-CECは、HDMIを通して接続されたTVとサウンドバー両方のボリューム・コントロールといった、シングルリモコンでCEC準拠デバイスをコントロール可能なことを特長としています。詳細については、TVの取扱説明書をご覧ください。

## TVに光端子(デジタル)ケーブルを接続する

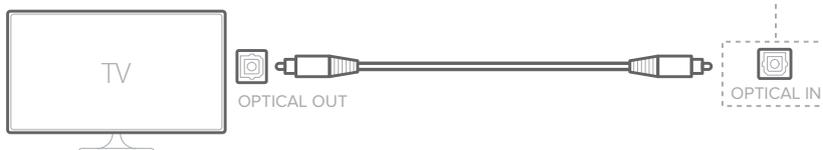
注:

- 光端子ケーブルの両端から保護キャップを取り外してあることをご確認ください。
- 1) 付属のデジタル光端子ケーブルで、TVの**OPTICAL OUT**コネクタとサウンドバーの**OPTICAL IN**コネクタを接続します。

### ENCHANT 1300



### ENCHANT 800



- 2) サウンドバーのトップパネル上の  ボタンまたはリモコンの  **SOURCE** ボタンを押して、**OPTICAL**モードを選択します。

# ／ 他のデバイスに接続

## HDMIケーブル(お勧め)

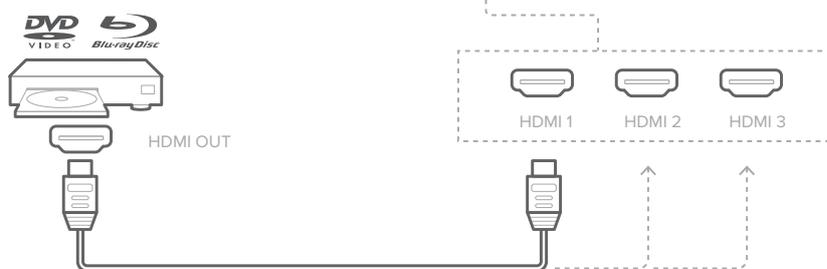
シングルHDMI接続を通してサウンドバーにセットトップ・ボックス、DVD/ブルーレイ・ディスクプレイヤー、ゲーム機といったデジタル・デバイスを接続します。

- 1) サウンドバー背面の **HDMI IN**ジャックから、デジタル・デバイスの**HDMI OUT**ジャックまで、HDMIケーブルを接続します。

### ENCHANT 1300



### ENCHANT 800



- 2) サウンドバーのトップパネル上の **Ⓞ** ボタン、またはリモコンの **Ⓞ SOURCE** ボタンを押して、**HDMIモード**を選択します。

### 注：

- 最高のパフォーマンスのため、常に高速(タイプ2)HDMIケーブルを使用してください。詳細については、HDMIケーブルの仕様をご覧ください。

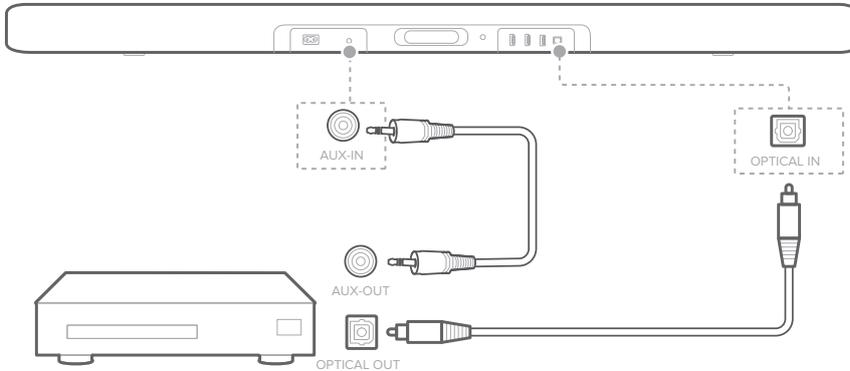
## 光端子またはアナログ・オーディオ・ケーブル

- 1) 付属の光端子ケーブルまたは3.5mmオーディオ・ケーブルを使用して、ソースデバイスの**OPTICAL OUT**または**AUDIO OUT**ジャックをサウンドバーの**OPTICAL**または**AUX**コネクタに接続します。

### ENCHANT 1300



### ENCHANT 800



- 2) サウンドバーのトップパネル上の **⏮** ボタンまたはリモコンの **⏮ SOURCE** ボタンを押して、**OPTICAL** または **AUX** モードを選択します。

# 電源への接続

## サウンドバーの電源をオン

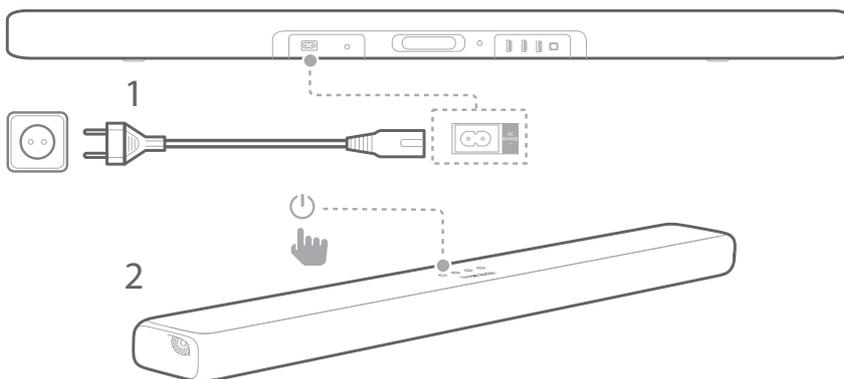
### 注：

- 電源コードを接続する前に、他の接続全てが完了していることをご確認ください。
- **⏻ (電源)** ボタンはAC電源コードに差し込んでから、4秒から6秒で作動し始めます。
- 電源コードの接続を外す場合は、必ずプラグを引っ張ってください。絶対にケーブルを引っ張らないでください。
- 機器間の全ての接続が完了するまで、ACコンセントにこのユニットまたは他の機器を接続しないでください。

### ENCHANT 1300



### ENCHANT 800

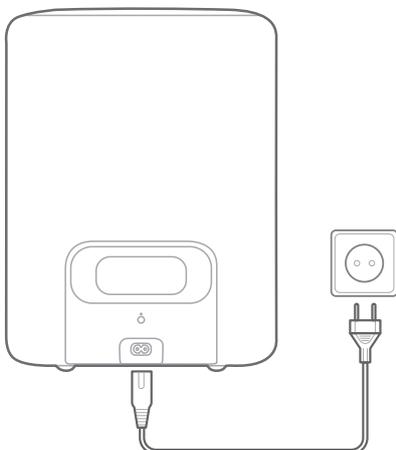


- 1) 電源コードの一端をサウンドバー背面の**AC IN**コネクタに差し込みます。

- 2) 電源コードのもう片方の端を電気が通っているAC(電源)の壁のソケットに差し込みます。
  - ディスプレイ・パネル上に「LOADING」の文字がスクロールします。サウンドバーをロードするのに約30秒間かかり、次にスタンバイ・モードに入って使用準備が完了します。
- 3) 電池挿入部のカバーをスライドさせて、完全に取り外してください。正しい極性で、付属の1.5V単4乾電池2本を入れてください。カバーを元の位置までスライドさせてください。
- 4) サウンドバー上の電源 $\odot$ (電源)を押します。
  - 「ON」が表示されます。

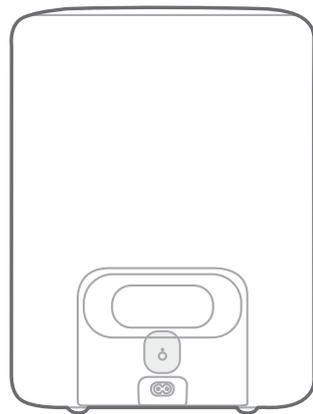
### サブウーファーの電源をオンにする(オプション)

- 1) 電源コードの一端をサウンドバー背面のAC INコネクタに差し込みます。
- 2) 電源コードのもう片方の端を電気が通っているAC(電源)のコンセントに差し込みます。



## サブウーファーを接続(オプション)

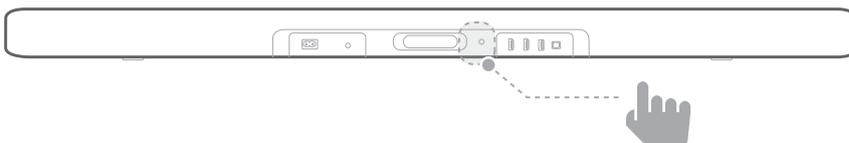
- 1) サウンドバーとサブウーファー両方の電源をオンにします。
- 2) サウンドバーのSUBWOOFER PAIRINGボタンまたはサブウーファーのPAIRINGボタンを押して、ペアリング・モードに入ります。
  - ・ 「SUB PAIRING」が表示されます。いったん接続されるとペアリング・チャイムが聞こえ、「SUB PAIRED」が表示されます。



ENCHANT 1300



ENCHANT 800



### サブウーファーLEDの状態

- ・  白色(ゆっくり点滅): 電源がオン
- ・  白色(素早く点滅): ペアリング
- ・  ホワイト(点灯): ペアになっている

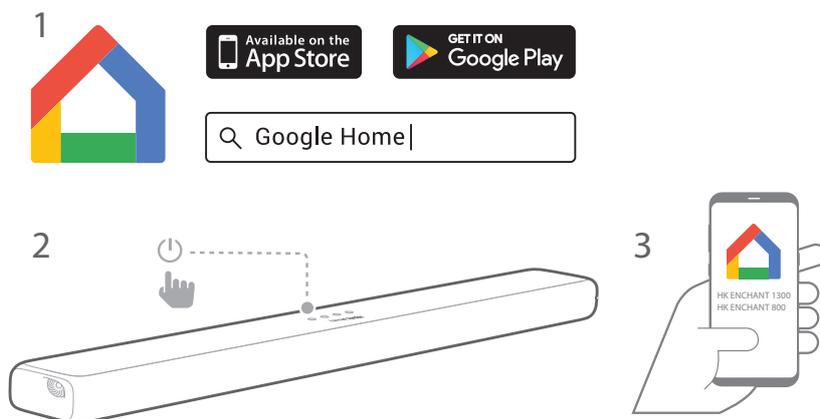
**注：**

- サウンドバーの電源がオフの場合、サブウーファーはスタンバイ・モードに入ります。
- お持ちのサウンドバー付近にあるサウンドバーと同一の周波数(2.4GHz)を使うデバイスを使用する場合、干渉がサウンドの中断の原因になることがあります。
- サウンドバーとサブウーファー間のワイヤレス信号の最大伝達距離は操作環境に応じて異なることがあります。

# WI-FIへの接続

サウンドバーはGoogle Home(グーグル・ホーム)アプリでWi-Fi接続することができます。

- 1) Google Home(グーグル・ホーム)アプリをダウンロードします。
- 2) サウンドバーの電源をオンにします。
- 3) Google Home(グーグル・ホーム)アプリを開き、アプリで指示されている通りにサウンドバーを設定します。必ずアプリの指示に従ってWi-Fi設定を完了します。
- 4) お持ちのGoogle(グーグル)アカウントでサインインします。アカウントをお持ちでない場合は、新規でアカウントを作成します。



## 注:

- 設定の問題が生じた場合、スマートホンまたはタブレットのBluetoothおよび位置情報サービスが使用可能になっていることをご確認ください。
- 最初に一度サウンドバーがインターネットに接続されると、サウンドバーはパフォーマンスを改善するため、ソフトウェアのアップデートを検出する場合があります。このアップデートは完了するのに数分かかることがあります。
- Google Home(グーグル・ホーム)アプリでは、サウンドバーの名称を再設定することができます。Bluetoothデバイスの検出中、およびGoogle Cast(グーグル・キャスト)のストリーミング中、デバイス名はそのままです。
- いったんサウンドバーがWi-Fiに接続されると、パフォーマンスを改善するワイヤレスのソフトウェア・アップデートを定期的に受信します。
- Wi-Fiルーターから接続を切り、サウンドバーのWi-Fi設定をリセットするには、まずサウンドバーの電源を入れて、サウンドバーのトップパネルにある $\text{\textcircled{P}}$ ボタンを5秒間押し続けます。

# / サウンドバーの使用

## Google Cast(グーグル・キャスト)で音楽を再生

Enchant(エンチャント)サウンドバーに内蔵されたChromecast(クロームキャスト)により、ただ**Cast**ボタンをタップするだけで、音楽、ポッドキャスト、300以上の音楽アプリのプレイリストからサウンドバーにストリームすることができます。

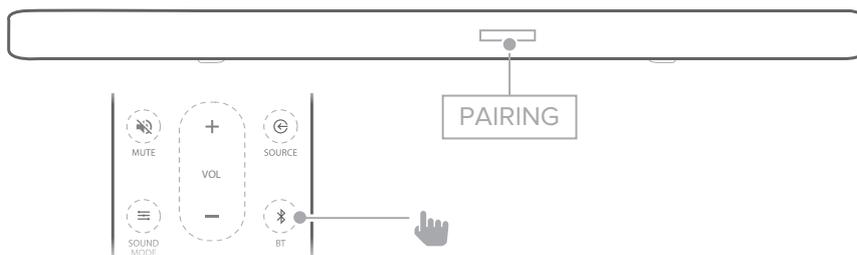
- 1) スマートホンまたはタブレットのChromecast(クロームキャスト)対応アプリを開いてください。
- 2) アプリの  アイコンをタップして、Enchant(エンチャント)サウンドバーを選択します。
- 3) アプリの「Play」を押します。

### 注:

- サウンドバーの名称はWi-Fi設定中に割り当てられます。
- Google Home(グーグル・ホーム)アプリを使えば、家中、複数の部屋で音楽を聴けるようにサウンドバーと他のChromecast(クロームキャスト)オーディオ・デバイスを一緒にグループ化できます。
- サウンドバーは、オーディオ・ストリーミングには対応していますが、ビデオ・ストリーミングには対応できません。

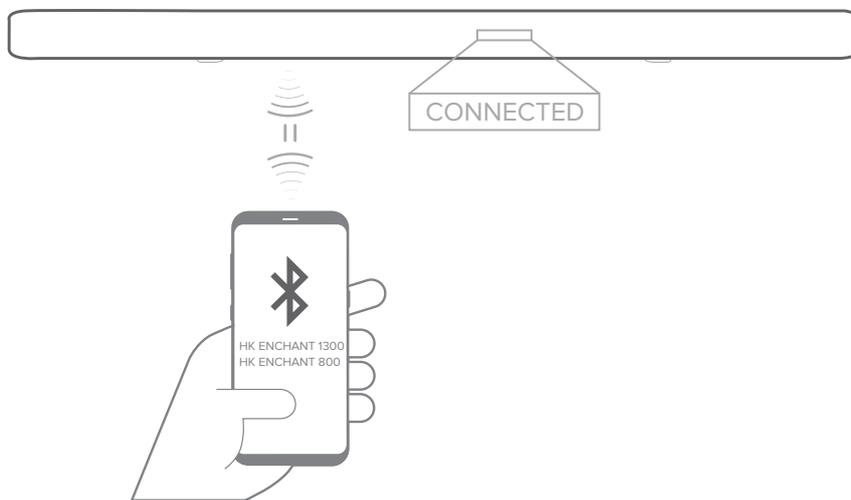
## Bluetoothを通して音楽を再生する

- 1) リモコンの  ボタンを押して、Bluetoothペアリング・モードに入ります。別の方法では、「BT」がディスプレイ・パネルに表示されるまで  SOURCE を繰り返し押します。



2) 接続するには、「HK ENCHANT 1300/800」を選択します。

- 音楽をストリームすると、トラック、曲名、曲のアーティストがディスプレイ・パネルにスクロールされます。



**注：**

- すでにサウンドバーをWi-Fiに接続していて、デバイス名を変更している場合は、新しいデバイス名を選択します。
- Bluetoothデバイスの接続時にPINコードの入力を求められた場合は、「0000」と入力します。
- Bluetoothモードを終了するには、他のソースを選択します。
- 接続を切って別のデバイスをペアにするには、リモコンで5秒間✳️BTを押し続けます。
- 停止状態から10分経過すると、サウンドバーは自動的にオフになります。
- Bluetoothのパフォーマンスは、デバイスからサウンドバーへの距離と、操作環境に影響される可能性があります。
- 接続が切れるのを防ぐには、サウンドバーとBluetoothデバイス間の距離を10m/33フィート以内においてください。

## USBストレージ・デバイスからの音楽の再生

サウンドバーでUSBストレージ・デバイスに保存されている音楽ファイルを再生します。

- 1) USBストレージ・デバイスをサウンドバーのUSBソケットに差し込みます。
- 2) サウンドバーのトップパネル上の  ボタン、またはリモコンの  **SOURCE** ボタンを押して、**USBモード**を選択します。
  - USBが検出されると、「**LOADING**」と表示され、自動的に音楽が再生されます。ファイル名がディスプレイ・パネルに表示されます。USBが検出されない場合は、「**PLUG IN USB**」と表示されます。

#### USBの再生コントロール

-  : スタート、一次停止、再生を再開。
-  : 1つ前か、次のトラックにスキップします。
-  **SHUFFLE** :
  - **オフ(デフォルト)** : 曲を順番に再生。
  - **シャッフル** : ランダムに曲を再生。
  - **1曲リピート** : 1曲を繰り返し再生。
  - **全曲リピート** : 全曲をフォルダーの順番に繰り返し再生。

#### オーディオ・フォーマット

拡張子	コーデック	サンプリング・レート	ビットレート
WAV	PCM	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	LPCM	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	IMA_ADPCM	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	MPEG	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満
	MULAW	44.1KHz~192KHz	5Mbps未満

拡張子	コーデック	サンプリング・レート	ビットレート
MP3	MPEG1 レイヤー1/2/3	32kHz~48kHz	32Kbps~320Kbps
	MPEG2 レイヤー1/2/3	16kHz~24kHz	8Kbps~160Kbps
	MPEG2.5 レイヤー3	8kHz~12kHz	8Kbps~160Kbps
AAC	MPEG2 LC	8kHz~96kHz	576Kbps未満
	MPEG4 LC	8kHz~96kHz	576Kbps未満
	HE AAC	8kHz~96kHz	576Kbps未満
フラック	フラック	8kHz~192kHz	5Mbps未満
OGG	ヴォルビス	8kHz~48kHz	500Kbps未満

注：

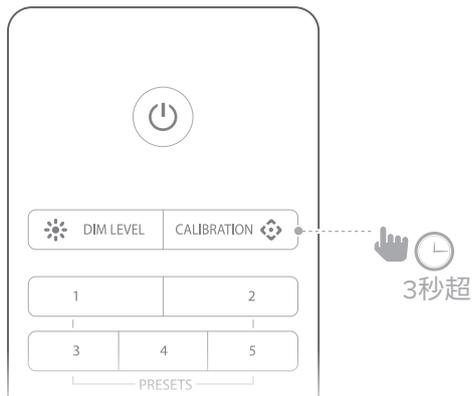
- 英数字を含む名称だけを表示することができ、それ以外は「UNKNOWN」と表示されます。
- ファイル・フォーマットに対応していない場合は、「UNSUPPORTED」と表示されます。
- 操作中は、USBデバイスを抜き取らないでください。
- 大容量USBの場合、検索に数分以上かかることがあります。2000を超えるファイルが入ったUSBには対応できません。
- コンピューターに接続してプログラムの追加インストールが必要なデバイスには対応していません。
- サウンドバーのUSBポートはコンピューターには接続できず、ストレージ・デバイスとしては使用できません。
- exFATおよびNTFSファイルシステムには対応していません。FAT16/FAT32システムをご利用いただけます。
- 一部のデバイスによっては、サウンドバー上で次の機器を認識できないことがあります。外付けHDD、カードリーダー、ロックされたデバイス、ハードタイプUSBデバイス、USBハブ、USB延長ケーブルを使用している場合、iPhone/iPod/iPad、Android(アンドロイド)デバイス。

# / 設定

## 自動MultiBeam™調整(AMC)でのサウンドバーの調整

自動MultiBeam(マルチビーム)調整(AMC)はより上質のサラウンド・サウンドをご体感いただけるように、サウンドバーのサウンド設定を最適化します。

- 1) 3秒間、**CALIBRATION**  ボタンを押し続けます。
  - 調整はカウントダウンから始まります。



- 2) 全体の調整は60秒未満続きます。
  - いったん調整に成功すると、「**DONE**」と表示され、調整に失敗した場合は「**FAIL**」と表示されます。

### 注：

- サイドファイアリング・スピーカーを正しく操作できて、部屋にサウンドが反射するように、サウンドバーの両側から障害物をどけてください。
- 何らかの周囲のノイズまたは音が調整の順序を妨害することがあります。調整中は余計なことをせず、静かにしてください。
- 異なった位置にサウンドバーを移動させるたびにオーディオを調整してください。
- 調整の設定はシステムのリセットによって削除することができます：サウンドバーの  と  ボタンを押し続けてください。

## お持ちのTVリモコンに対応

### HDMI CEC

TVにHDMI ARC接続を使用している場合、TVリモコンは自動的にサウンドバーの電源のオン/オフやボリューム・コントロールといった標準的な操作ができるようになります。サウンドバーはHDMI CECに対応しており、対応するTVと同時に使用できます(HDMI CECに対応しているかどうかを知るには、TVの取扱説明書をご確認ください)

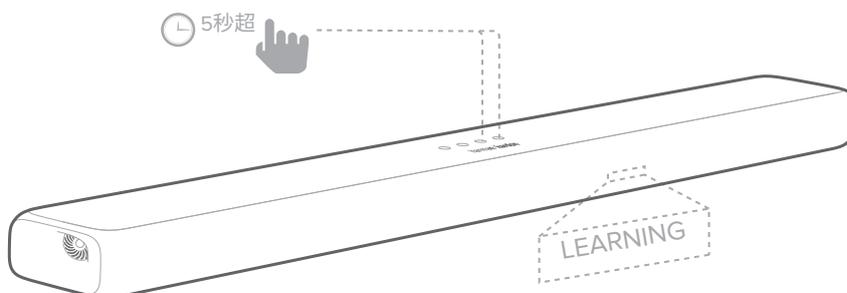
### 自動TVリモコン

Samsung、LG、Sony、Vizio TVs(ビジオTV)については、サウンドバーは自動的にTVリモコンに対応します。この機能を使えなくするには、Enchant(エンチャント)リモコンの✕SHUFFLEボタンを5秒間押し続けます。

### TVリモコンのラーニング

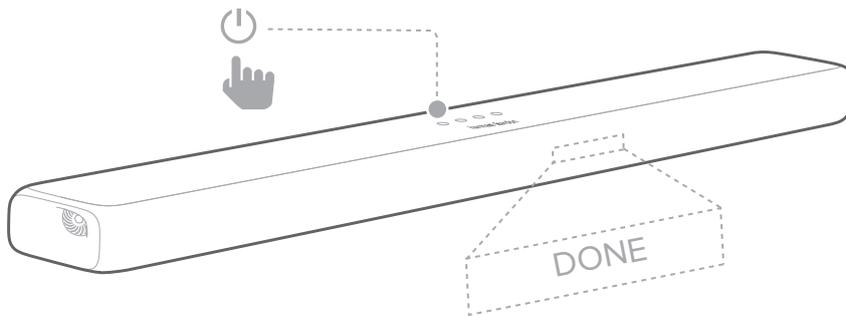
他のTVでは、サウンドバーをお持ちのTVリモコンに対応させるには手動でプログラムしてください。

- 1) ラーニング・モードに入るには、+およびⓄを5秒間押し続けてください。



- 2) 次に、サウンドバー上のⓄボタンを押してからTVリモコンのPOWERを押してください。

- 3) 「ボリュームダウン」および「ボリュームアップ」でも同じ手順に従ってください。ミュートするには、サウンドバー上の+および-を両方押してからTVリモコンの**MUTE**を押してください。
- 4) 再度サウンドバー上の + および  を押し続ければ、サウンドバーはTVリモコンに対応します。



## オート・スタンバイ/オート・ウエイクアップ

このサウンドバーは、ボタン操作をせず、接続デバイスから検出されたオーディオ/ビデオの再生がない状態で10分経過すると、自動的にスタンバイ・モードに切り替わります。

最後に検出された接続からこのサウンドバーがオーディオ信号を受信すると、再度自動的に電源がオンになります。

## 工場出荷時の設定の適用

このサウンドバーを工場出荷時にプログラムされたデフォルト設定に戻します。

- 1) いずれのソースモードでも、サウンドバーのトップパネル上の  および  ボタンを押し続けます。
- 2) 工場出荷時の設定への復元が完了すると、サウンドバーは自動的にオフになり、再起動します。

# ソフトウェアをアップデート

最高の機能とサポートを利用するには、最新のソフトウェアでサウンドバーをアップデートしてください。必要なもの：

- Wi-Fiネットワーク。
- インターネットにアクセスできるコンピューター。
- FATフォーマットのUSBフラッシュドライブ

## 現在のバージョンをチェック

現在のバージョンをチェックするには、※ DIM LEVELを3秒間押し続け、次に10秒以内に続けて≡ SOUND MODEおよびNIGHT MODE を押します。

## ソフトウェアをアップデート

- 1) ソフトウェアの最新バージョンはネットワークに接続すれば入手できます。「NEW UPDATE FOUND」が1回ディスプレイ・パネルにスクロールされます。次に、サウンドバーがアップデート・プロセスを開始します。
  - アップデートのパーセンテージと「UPDATING, KEEP INTERNET CONNECTION」がディスプレイ・パネルにスクロールされます。
- 2) Harman Kardon(ハーマン・カードン)は今後、Enchant(エンチャント)サウンドバーのシステム・ファームウェア用のアップデート・プログラムを提供することがあります。アップデートが提供された場合、アップデート・ファイルをUSBフラッシュ・ドライブにダウンロードして保存し、サウンドバーのUSBソケットに差し込むことができます。アップデート・ファイルのダウンロードに関する詳細を入手するには、[www.harmankardon.com](http://www.harmankardon.com)にアクセスするか、またはカスタマー・サービスにご連絡ください。ソフトウェア・アップデートを起動するには、サウンドバーの—およびボタンを押し続けます。

# / 仕様

	Enchant 800	Enchant 1300
<b>オーディオ/ビデオ</b>		
オーディオ・チャンネル	8	13
最大出力	180W	240W
RMS出力	90W	120W
全高調波歪み(THD)	1%	1%
ウーファー・サイズ	6x2インチ(50mm)	10x2インチ(50mm)
ツイーター・サイズ	2x1インチ(25mm)	1x0.75インチ(20mm) 2x1インチ(25mm)
最大音圧レベル	91db SPL	93dB SPL
周波数特性	76Hz~20KHz	71Hz~20KHz
オーディオ入力	アナログ1、光端子1、 Bluetooth、USB、Wi-Fi	アナログ1、光端子1、 Bluetooth、USB、Wi-Fi
HDMIビデオ入力	1	3
HDMIビデオ出力(オーディオ・リターン・チャンネル付き)	1	1
HDMI HDCPバージョン	2.2	2.2
HDR	HDR10	HDR10
<b>Bluetooth</b>		
Bluetoothバージョン	4.2	4.2
Bluetoothプロファイル	A2DP v1.3/AVRCP v1.5	A2DP v1.3/AVRCP v1.5
Bluetooth周波数帯域	2402MHz~-2480MHz	2402MHz~-2480MHz
Bluetooth最大送信電力	9dBm(EIRP)	9dBm(EIRP)
Bluetooth対応トランスミッター変調	GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK	GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK

	Enchant 800	Enchant 1300
<b>Wi-Fi</b>		
Wi-Fiネットワークへの互換性	IEEE 802.11b/g/n/ac (2.4G/5G)	IEEE 802.11b/g/n/ac (2.4G/5G)
2.4G Wi-Fi周波数帯域	2412～2472MHz(2.4GHz ISMバンド、USA 11チャンネル、ヨーロッパとその他の地域 13チャンネル)	2412～2472MHz(2.4GHz ISMバンド、USA 11チャンネル、ヨーロッパとその他の地域 13チャンネル)
2.4G最大送信電力	18dBm(EIRP)	18dBm(EIRP)
2.4G Wi-Fi変調	OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM	OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM
5G Wi-Fiトランスミッター出力	18dBm(EIRP)	18dBm(EIRP)
5G Wi-Fi変調	OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM、256QAM	OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM、256QAM
5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域	5.150～5.350GHz、 5.470～5.725GHz、 5.725～5.825GHz	5.150～5.350GHz、 5.470～5.725GHz、 5.725～5.825GHz
2.4G ショートレンジ・ワイヤレス周波数帯域	2402～2478MHz	2402～2478MHz
2.4G ショートレンジ・ワイヤレス最大トランスミッター出力	0dBm(EIRP)	0dBm(EIRP)
2.4G ショートレンジ・ワイヤレス変調	$\pi/4$ DQPSK	$\pi/4$ DQPSK

	Enchant 800	Enchant 1300
<b>USB</b>		
USBの互換性 USBのクラス対応	高速USB(2.0)	高速USB(2.0)
USBファイル・フォーマット	USBマス・ストレージクラス (MSC)	USBマス・ストレージクラス (MSC)
USBファイルシステム	FAT16、FAT32	FAT16、FAT32
USBファイル・フォーマット	.mp3、.wav、.aac、.flac、.ogg	.mp3、.wav、.aac、.flac、.ogg
USBポート	5V $\equiv$ 1A	5V $\equiv$ 1A
<b>概要</b>		
電源	100-240V $\sim$ 50/60Hz	100-240V $\sim$ 50/60Hz
消費電力	33 W	48 W
スタンバイ時消費電力	2W未満	2W未満
動作温度	0 $^{\circ}$ C $\sim$ 45 $^{\circ}$ C	0 $^{\circ}$ C $\sim$ 45 $^{\circ}$ C
寸法(幅 $\times$ 高さ $\times$ 奥行)	33.8 $\times$ 2.6 $\times$ 4.9インチ (860 $\times$ 65 $\times$ 125mm)	44 $\times$ 2.6 $\times$ 4.9インチ (1120 $\times$ 65 $\times$ 125mm)
付属ケーブルの長さ	4フィート(1200mm)	4フィート(1200mm)
重量	9.5ポンド(4.3kg)	12.5ポンド(5.65kg)
外装寸法(幅 $\times$ 高さ $\times$ 奥行)	37 $\times$ 7.5 $\times$ 7インチ (940mm $\times$ 190mm $\times$ 180mm)	47 $\times$ 7.5 $\times$ 7インチ (1200mm $\times$ 190mm $\times$ 180mm)
外装重量(総重量)	13.4ポンド(6.1kg)	16.7ポンド(7.6kg)

	Enchant Subwoofer (エンチャント・サブウーファー)
<b>オーディオ/ビデオ</b>	
最大出力	400W
RMS出力	200W
全高調波歪み(THD)	1%
ウーファー・サイズ	6x2インチ(50mm)
最大音圧レベル	83db SPL
周波数特性	35Hz～-160KHz
<b>ワイヤレス</b>	
2.4G ショートレンジ・ワイヤレス周波数帯域	2402～2478MHz
2.4G ショートレンジ・ワイヤレス最大トランスミッター出力	0dBm(EIRP)
2.4G ショートレンジ・ワイヤレス変調	π/4 DQPSK
<b>概要</b>	
電源	100-240V~50/60Hz
消費電力	48 W
スタンバイ時消費電力	0.5W未満
動作温度	0°C～45°C
寸法(幅x高さx奥行)	11.7x15.7x11.7インチ (296mmx400mmx296mm)
付属ケーブルの長さ	4フィート(1200mm)
重量	32.8ポンド(14.9kg)
外装寸法(幅x高さx奥行)	14.1x14x18.7インチ(360mmx358mmx474mm)
外装重量(総重量)	37ポンド(16.8kg)

# トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点をチェックしてください。

## サウンド

**サウンドバーから音が出ない。**

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- 適正なオーディオ入力ソースを選択していることをご確認ください。

**異様な音がする。**

- **≡ SOUND MODE**を5秒間押し続けると、デフォルトのオーディオ設定へとリセットされます。

**ワイヤレス・サブウーファーから音が出ない。**

- サブウーファーのLEDがソリッドホワイト・カラーであるかどうかチェックしてください。LEDが点滅していれば、接続が切れています。サブウーファーとサウンドバーを手動でペアにしてください。

**サウンドまたはエコーが歪んでいる**

- サウンドバーからTVの音声を再生している場合は、TVがミュート状態でないかどうかをご確認ください。

**オーディオとビデオが同期していない。**

- 同期させるには**AUDIO SYNC+/-**を押します。

### ディスプレイパネルにエラーメッセージが表示される。

- 「ERROR」と表示されている場合、オーディオ入力形式がサウンドバーに対応していないことを示しています。
- USBソースモードで「ERROR」と表示される場合、USBデバイスまたはファイルがサウンドバーに対応していないことを示しています。

## Bluetooth

### サウンドバーにデバイスが接続できない。

- デバイスのBluetooth機能が使用可能かどうかをチェックしてください。
- すでにサウンドバーが別のBluetoothデバイスに接続されている。接続を切るにはリモコンの✳ BTを押し続け、新しいデバイスとペアにします。

### 接続したBluetoothデバイスからのオーディオ品質が悪い。

- Bluetoothの受信状態が不良です。デバイスをサウンドバーにもっと近づけるか、デバイスとサウンドバー間にある障害物をどけてください。

## Wi-Fi

### Enchant(エンチャント)サウンドバーがマイWi-Fiネットワークに接続できない。

- ルーターが作動しているかチェックしてください。
- Google Home(グーグル・ホーム)アプリの指示に従ってWi-Fi設定を完了します。

# / オープンソースのライセンスに関する注意

本製品はオープンソース・ソフトウェアを内蔵しています。お客様の利便性のため、GPLに基づいて認可されたソフトウェア用のソースコードおよび関連する構築指示が

<http://www.harmanardon.com/opensource>のオープンソースで利用可能です。OpenSourceSupport@Harman.comにご連絡いただいで、この情報を取得していただくことも可能です。

# / 使用許諾



Bluetooth®のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ 株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ています。他の商標および商標名は各所有者に属します。



Dolby Laboratoriesのライセンスの下で製造されます。Dolby、Dolby Audio、Pro LogicおよびダブルD記号はDolby Laboratoriesの商標です。



HDMIという用語、HDMI高解像度マルチメディア・インターフェースおよびHDMIロゴは HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



Wi-Fi認証ロゴはWi-Fi Alliance(アライアンス)の認証マークです。



DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご覧ください。DTS Licensing Limitedのライセンスの下で製造されます。DTS、その記号、& DTSおよびその記号は共に登録商標であり、DTS Digital Surround(デジタル・サラウンド)はDTS, Inc. © DTS, Inc.の商標です。



内蔵Chromecast(クロームキャスト)ロゴは Google LLC.の商標です。

**harman / kardon**<sup>®</sup>  
by HARMAN